

目次

序文	明石 康	
I 理論的考察		9
1 国際政治構造の変容と人道的介入	納家 政嗣	11
2 人道的介入の問題 (英文)	明石 康	31
3 人道的介入—新たな課題か、繰り返される不要な行為か (英文)	姜 聲 鶴	37
4 人道的介入の必要性和問題点 (英文)	Y. K. チャギ	57
II 事例研究.....		73
5 ソマリアと人道的介入	滝澤美佐子	75
6 「ボスニア・ヘルツェゴビナと人道的介入」	望月 康恵	97
7 東ティモールにおける国連の活動と「人道的介入」	山田 哲也	115
III 現場への眼		135
8 国連平和維持活動再考	川上 隆久	137
9 「難民キャンプ」のイデオロギー分析	小泉 康一	155
10 人道的介入と国家主権 (英文)	銭 文 栄	177
11 国際的介入—その人道性について (英文)	J. ロレンティ	189

IV 書評	199
1 インゲ・カウル他編『地球公共財—21世紀における国際協力』	
	功刀 達朗 201
2 エドワード・C・ラック著『混在する言説と政策— アメリカ政治と国際機構1919-1999』	
	内田 孟男 207
3 秋月弘子著『国連法序説』	
	松隈 潤 213
4 吉川元編著『予防外交』	
	堀江浩一郎 217
5 ラインハルト・ドリフテ著 (吉田康彦訳)『国連安保理と日本』	
	V. ホーキンス 223
V 日本国際連合学会から	229
1 『国連研究』編集および執筆要領	231
2 規約と役員名簿	241
3 編集後記	247
VI 英文要約 (目次および第 I, II, III部)	249

執筆者一覧